

製品名: EFHD1 (5C10) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00868**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 27 kDa; Observed MW: 27 kDa

抗原情報

遺伝子名	EFHD1
別名	EF-hand domain-containing protein D1; Mitocalcin; MGC103094; Swiprosin 2
遺伝子 ID	80303
SwissProt ID	Q9BUP0
免疫原	EFHD1 の合成ペプチド

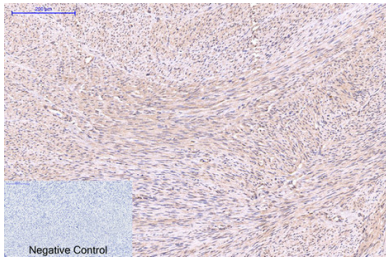
背景

ミトコンドリアフラッシュ（ミトフラッシュ）活性化のカルシウムセンサーとして作用する。ミトフラッシュ活性化は、確率的なスーパーオキシド産生のバーストを特徴とする現象である（PubMed:26975899）。神経分化において役割を果たす可能性がある。

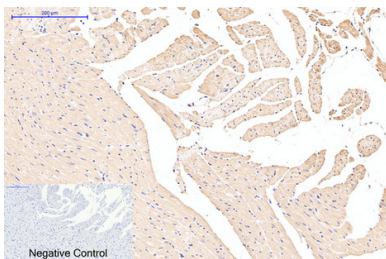
研究分野

細胞生物学

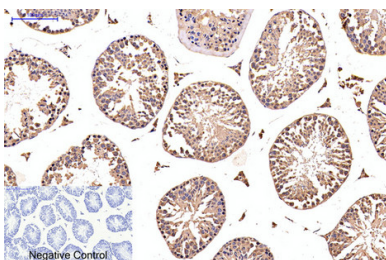
画像データ



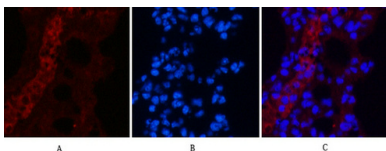
EFHD1 (5C10) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト子宮組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



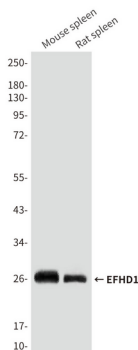
EFHD1 (5C10) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



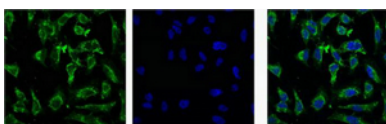
EFHD1 抗体を用いたパラフィン包埋マウス精巣組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いた。ネガティブコントロールとして、二次抗体のみを用いた。



EFHD1 (5C10) 抗体 (3G2) (赤) および DAPI (青) を使用したマウス肺における EFHD1 (5C10) の免疫蛍光分析。



EFHD1 (5C10) 抗体を使用したマウス脾臓、ラット脾臓組織溶解物中の EFHD1 のウエスタンブロット分析。



EFHD1 (5C10) 抗体 (左) と DAPI (右) を使用した HeLa 中の EFHD1 の免疫蛍光分析。

